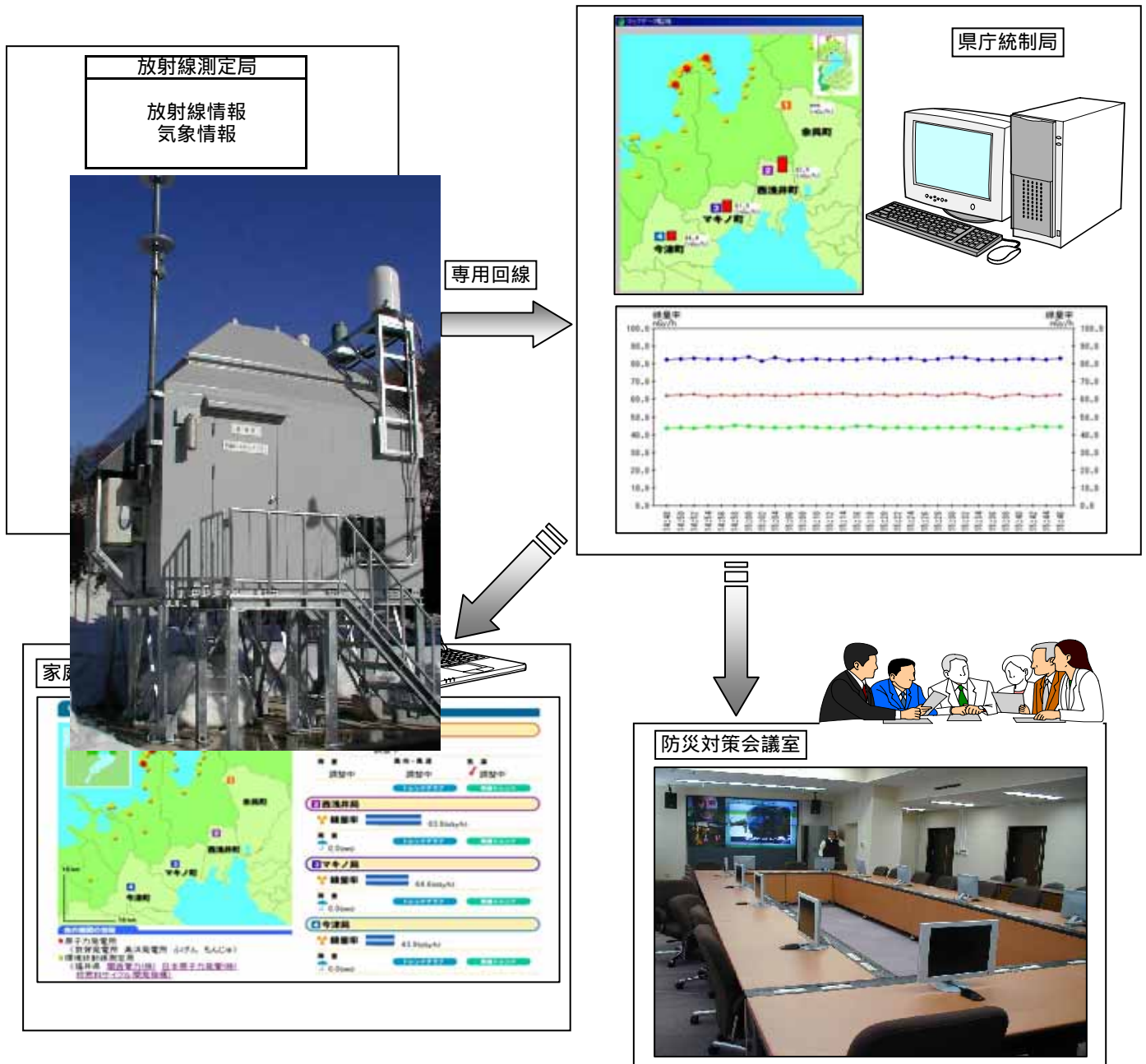


報告事項資料

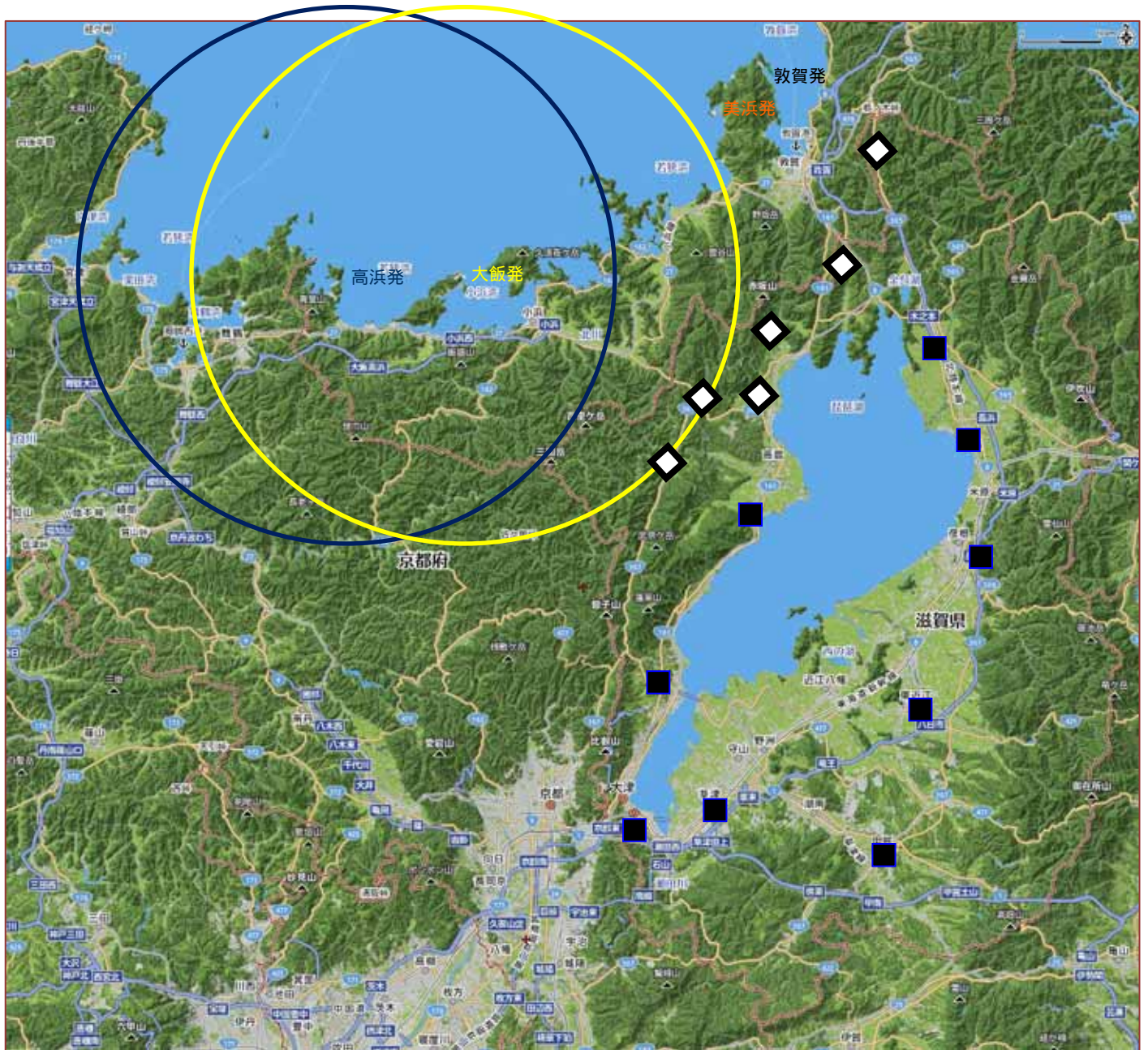
滋賀県環境放射線モニタリングポストについて

環境放射線モニタリングポストの概要



環境放射線モニタリングポスト

■ 水準調査モニタリングポスト



滋賀県危機管理センターについて

整備目的

地震等の自然災害をはじめ、テロや新型インフルエンザ等様々な危機事案に対し、迅速、的確に対応するとともに、自助・共助による地域防災力の向上を図るため、危機管理機能の拠点となる滋賀県危機管理センターを整備する。

施設概要

- 立地場所 : 県庁本館に隣接する県警察本部跡地に整備
(県庁本館との連絡通路を設置)
- 建物概要 : 免震構造 5 階建
建築面積約 1,100 m²、延床面積約 5,500 m²
 - 諸 室 : オペレーションルーム、災害対策室 (13 室)、本部員会議室、プレスセンター、本部長室、無線統制室、執務室等
 - 設 備 : 自家発電機、太陽光発電、防災井戸、貯水槽、汚泥貯水槽、自然換気システム、備蓄倉庫等
- 防災情報機能 : クラウドコンピューティングを活用した防災情報システム
防災行政無線の更新
- 研修・交流機能 : 調査・研究開発機能
研修機能 (災害対応力、生活防災力を高める研修)
交流機能 (顔の見える関係づくりができる場の提供)
展示機能 (生活防災をイメージできる展示等)

整備スケジュール

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
基本設計	→			
実施設計		→		
建築工事			→	
防災行政無線 実施設計	→			
防災行政無線 設置工事			→	→
防災情報システム実施設計		→		
防災情報システム整備			→	→

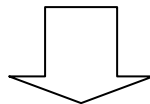
滋賀県地震被害想定調査について

前回調査の概要・経過

- 平成15年11月着手、17年4月公表
 - ・想定対象地震（地震発生の可能性とその影響が大きいものとして）
琵琶湖西岸断層帯(3ケース)、花折断層帯、
東南海・南海地震
 - ・揺れ・液状化の分布推計（500mメッシュ）
 - ・建物被害推計（倒壊棟数、火災発生件数）
 - ・人的被害推計（建物倒壊に伴う死傷者・避難者数）

今回調査の概要・経過

- 平成24年10月着手（実施中）
 - ・前回調査以降のボーリングデータを収集、浅部地盤モデルを再構築して、揺れ・液状化の分布を推計（250mメッシュ）
 - ・想定対象地震（県域各地で起こりうる大地震として）
琵琶湖西岸断層帯、花折断層帯、木津川断層帯、
鈴鹿西縁断層帯、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯
南海トラフ巨大地震（各2ケース）
- 平成25年度予定
 - ・社会的データの収集（建物、ライフライン、交通施設 他）
 - ・建物・施設被害推計（倒壊棟数、火災発生・延焼棟数、家具転倒、
ライフライン・交通施設被害 他）
 - ・人的被害推計（死傷者・要救助者・避難者・孤立集落・帰宅困難者）
 - ・災害イメージ把握（上記被害・対応状況の経時的シナリオ作成）

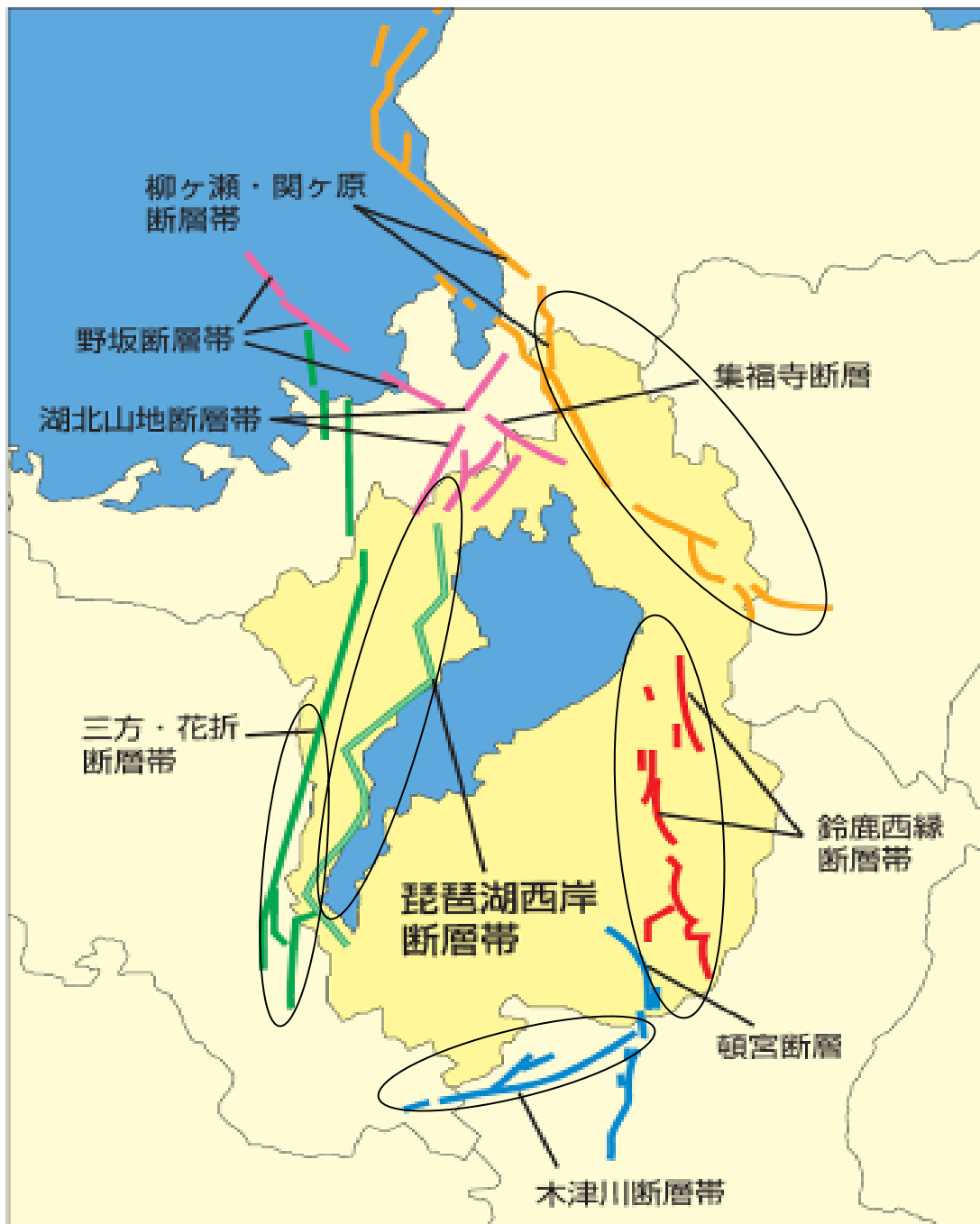


有効かつ現実的な対策の検討 協力連携体制の整備

御協力をお願い（別途、正式依頼を予定）

- ・ライフライン・交通施設の被害想定手法、公表方針についての協議
- ・被害想定に使用する関係施設資料の提供（提供が可能なもの）
- ・災害シナリオの検討への参画

参考：県域活断層(帯)分布図



今回想定対象震源

近畿府県合同防災訓練の実施について

■ 訓練の概要

近畿府県合同防災訓練は、「近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定」を根拠とし、広域災害への対応力と各防災関係機関の連携力の向上を目的に、下記に挙げる訓練を一体的に行う訓練である。

- 府県合同防災訓練
- 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練
- 滋賀県総合防災訓練
- 市町総合防災訓練
- 関西広域応援訓練
- メディア連携訓練

■ 開催府県

近畿 2 府 7 県の持ち回りで開催されており、滋賀県では平成 7 年、平成 16 年に続き、3 回目の開催となる。

■ 開催時期

平成 25 年 10 月 26 日（土） 27 日（日）

■ 開催場所

東近江土木事務所管内（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）
訓練主会場は近江八幡市立運動公園

■ 訓練内容

- 府県合同防災訓練
広域物資輸送訓練、広域医療訓練 など
- 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練
迅速出動訓練、参集訓練、宿営訓練、部隊運用訓練 など
- 滋賀県総合防災訓練、市町総合防災訓練
災害対策本部設置運営訓練、緊急初動班訓練 など
- 関西広域応援訓練
応援府県による先遣隊派遣訓練 など
- メディア連携訓練
報道連携訓練、特別番組の放送